

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第25回 アジアのカブトムシとクワガタムシ

夏休みが近づくとカブトムシがあらわれる季節となる。クワガタムシはそれより早く、向島では5月中旬には活動が始まるようだ。

冬がある地域に棲むこの虫たちは、寒さを耐えるのに地中で暮らしているものや木の中に入り冬越しをしているものもいる。

カブトムシは幼虫で、クワガタムシの多くは成虫で温度差の少ない場所を選んで命を守っている。暖かいアジアの国では年間を通して発生している種類もあるようです。それだけ種類が多いのかもしれないね。

今回は日本のカブトムシ1種とアジアのカブトムシ4種、日本のクワガタムシ11種とアジア(オセアニアを含む)のクワガタムシ8種を対決するように並べて、大きさや形をくらべてみようと思います。

アジア(オセアニア)といっても大変広い地域であり全てのクワガタを持っていないし、自然界では出会うことのない虫たちを比べるのはどーか??とも思ったのだけれども、日本とアジア(オセアニア)の気候や地質や人のくらしなど…自然の営みの影響を受けながら姿形をさまざまに変化・適応させてきた虫たちの不思議と素晴らしさを見なさんにみつけて欲しいし、「なぜ?」と思う気持ちをもって想像力や表現力や創作力で何かに気がついて豊かな心が育ってくれたらいいなーと思います。

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ
つるかめクラブ